

第 62 回宇宙理学委員会 議事録

日時：平成 30（2018）年 9 月 28 日（金）11:00～12:40

場所：宇宙科学研究所研究管理棟 1 階入札管理室(1134)

出席者：

理学委員：山田委員長，渡邊副委員長，篠原委員（幹事），清水委員（幹事），山崎委員（幹事），井口委員，一本委員，今村委員，上野委員，金田委員，河合委員，郷田委員，齋藤委員，田代委員，田中委員，中川委員，三好委員，吉田委員
宇宙研：藤本副所長，満田プログラムディレクタ，倉崎理事補佐、三好科学推進部長事務局：科学推進部青柳計画マネージャ，石崎，和木

1. 前回議事録確認

資料 1-1，資料 1-2，回覧済みだが，指摘があればお願いする→無し，承認。

2. 理学委員の追加について（審議）

山田委員長より，藤本氏の研究総主幹，副所長就任に伴う欠員について，今期はあと半年の任期であるが，臼井 寛裕氏を所に推薦することの提案があった。手続等につき，理学委員会運営要領を確認の上，承認された。

3. あらせ終了審査について（報告）

山田委員長，清水幹事より投影資料に基づいて説明がなされた。あらせ定常運用終了審査および運用延長審査のためのミッション分科会を理学委員会からの推薦により，草野完也氏を委員長，国際審査員 3 名を含む 8 名の委員で組織し，複数の磁気嵐の観測など初期成果等のサイエンス面と衛星の現状につき，未公開情報を含むプロジェクトからの資料に基づき審査を行なった。当初予定された成果は十分に得られているものと認め，ミッション延長については 2021 年までの延長運用，新たに設定する成功基準について妥当であると結論し，親委員会に提出した。審査報告等はまだ確定版となっていないが，今後回覧，承認へと進む。

4. 搭載機器基礎開発研究費審査の申し送り事項の次年度への反映(審議)

清水幹事より，資料 3 に基づいて説明がなされた。本年度の審査で，書類不備により審査に進められなかった提案があり，次年度は要領とフォームを明確化することで，審査の実効性をあげたいという提案があった。議論の結果，実行方法，コンプライアンスについて確認し，次回委員会に次年度の公募要領案として提出することとした。

5. WG 主査会議 (報告)

山田委員長より資料 4 に基づき，11 月 2 日に主査会議を行なうことが報告された。

6. WG 審査（審議）

1. 3 年を経た WG の延長審査について（審議）

WG 設立審査委員会中川委員長より資料 5-2 に基づいて K-EUSO,FUJIN, FORCE についてそれぞれ説明がなされ, WG 延長を認めたいという提案がされ, 承認された。

2. WG 終了審査(審議)

WG 設立審査委員会中川委員長より資料 5-1 に基づいて WF-MAXI, THOR についてそれぞれ説明がなされ, WG 終了を認めたいという提案がされ, 承認された。

3. 今後の審査予定について(報告)

資料 5-3 に基づいて, 今後の予定について示された。新規申請を考えているのが 2 件, 3 年を経た WG で延長希望のものがある。山田委員長より, 戦略的海外協同計画である WFIRST, Athena WG について所内準備チームとするための手続を開始したいという提案があった。判断基準も含め書類にて説明してほしいという議論があり, 緊急性のあるものはメール回覧, それ以外は次回議論ということになった。

7. 理学メンバ登録について (審議)

資料 9 に記載の 4 名の提案があり, 承認された。

以上